

ドキュメンタリー

映画「風は生きよという」上映 & パラリンピアントーク

障がい理解

知ってはじまる・・・、知ってつながる・・・。



神谷千恵子氏

日時 2018年3月24日(土)

13:30 ~ 16:20

会場 調布市文化会館 たづくり

12F 大会議場 (定員120名)

入場料 1,000円 (事前申込制)

お問合せ

調布市福祉作業所等連絡会 事務局：松井

TEL&FAX：042-481-3201

e-mail：fuku-renraku@tbz.t-com.ne.jp

ご来場の皆様に
連絡会オリジナル
エコバッグ
をプレゼント!!



主催：調布市福祉作業所等連絡会
後援：調布市、調布市社会福祉協議会

共催：調布社会福祉士会、調布市部課長会
協賛：国際ソロプチミスト東京-調布ローレル

知ってはじまる・・・、知ってつながる・・・。

毎年、調布市福祉作業所等連絡会では「障がい理解」をテーマに様々な障がい者にまつわる映画上映会を企画し、広く市民の皆様に対して、障がい理解の促進と普及に努めております。今回は人工呼吸器を使用しながら地域で暮らす障がい者を描いたドキュメンタリーを通して、知らないことを知り、理解を深めることで、共生社会を目指す機会としていきたいと考えました。さらにパラリンピック銀メダリストの神谷千恵子氏をお招きして、障がい者スポーツの現状について共に考え、東京パラリンピックへ向けて気運を醸成していきたいと願っています。

「風は生きよという」作品紹介

呼吸器から吹く風に乗れ、つながりあう人と人との物語。もしもあなたが、病気や障害のために身体を動かさなくなったとしたら、どんな人生を想像しますか？

映画が映し出したのは、ふつうの街でふつうの生活を送る人びと。特別なことといえば、呼吸するための道具・人工呼吸器を使用していることくらい。人工呼吸器。ひと昔前、それは巨大な鉄の箱で出来ていた。こんなものに頼るならいっそ死んだ方がましー そう思われるには、十分すぎる見た目だった。

いま、呼吸器はお弁当箱に様変わり。散歩も旅行も買い物も、ひとり暮らしさえも可能にしてくれた。呼吸器からは、休みなく空気が流れてくる。「シュー、シュー」と、まるで風のように。淡々とその生活を映し出し、歩んできた人生を見つめた時、浮かんできたのは日常の尊さ。たくさんの支援が必要だからこそ、多くの人に出会え、自由に動くことができないからこそ、生きてあることに感動する。じんわりとこころを揺する、人と人が織りなす物語。もしもあなたに、思うように身体を動かせない、そんな日が来た時は思い出してほしいのです。映画の中を駆け抜けていた、風の音を。その風に包まれた人と人々が、支えあいながら生きていることを。(2015年/日本/81分/ドキュメンタリー)

パラリンピアン 神谷千恵子氏 紹介

2000年にシドニーパラリンピックのテレビ観戦をきっかけに、障がい者スポーツに興味を持ち「年齢も障害の有無も関係ない、最もバリアフリーな種目」であるアーチェリーと出会う。2001年にアーチェリーをはじめ、2006年にコンパウンドがパラリンピックアーチェリーの正式種目になり、パラリンピックを目指して2008年5月の国内代表決定戦において、念願だった北京パラリンピックの出場権を獲得し、銀メダルを獲得する。

『私が出来たのだから、多くの人にもきっと出来るはず!』という思いで、現在東京都身体障害者アーチェリー協会の理事長に就任し、また強化事業の担当も兼務。そして自身も現役選手として活躍中。

2007: PARA 世界選手権大会 個人8位 団体銀メダル
2008: 北京パラリンピック 個人銀メダル
2013: PARA 世界選手権大会 個人11位 団体銅メダル

コーディネーター
川田 幸生氏
プロフィール
一橋大学大学院
社会学研究科
博士後期課程在籍中
スポーツ社会学専攻



地域スポーツ、障害者スポーツをテーマに研究中で、調布では重度障害者中心の余暇活動「ほりて〜ぶらん」のボランティアでも活躍中。

チケットの購入方法

メール・FAXにて以下の4点をお知らせ下さい。
①氏名②枚数③連絡先④介助者の有無。
ご入金の確認次第、申込完了となります。

お問い合わせ

調布市福祉作業所等連絡会 事務局：松井
TEL&FAX：042-481-3201
e-mail：fuku-renraku@tbz.t-com.ne.jp

タイムスケジュール

13:00 開場
13:30 代表挨拶
13:33 上映開始
15:00 トーク開始
16:00 アーチェリー紹介
16:20 閉会